

外傷と非外傷に対する Open Abdominal Management に関する研究

■ 研究の対象となる方

2011年4月から2021年8月までの期間に、当院で Open Abdominal Management を施行された方

■ 目的・方法

重症外傷に対し、緊急手術が必要な患者様においては、時にその重症度により初回手術を止血と感染制御を第一目標とした簡略的手術を行い、全身状態を改善させた後に根治手術を行う Damage Control Surgery を行う場合があります。この場合、根治術前の手術では閉腹を行わない Open Abdominal Management を選択することがあり、当院でも対象症例に適応しています。また、救命率向上のために腸管壊死や重症腹膜炎などの外傷以外の腹部救急疾患にも Open Abdominal Management を活用することがありますが、その有用性については明らかではありません。この研究は当院で施行した Open Abdominal Management の治療成績を調査し現状を明らかにし改善点を検討することを目的としています。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報情報を削除し、解析・検証を行います

■ 実施期間

2021年12月3日～2021年4月30日

■ 研究に使用する情報

患者背景、手術関連因子、術後合併症の有無、入院期間等など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 医長 松本克孝（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--

以上